

令和4年度 公社等経営評価シート
(対象期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日)

概	名称	一般財団法人宮崎県水産振興協会		所在地	延岡市熊野江町2453番地11	
	電話番号	0982-43-0411		ホームページ	https://mivasuisan.stars.ne.jp	
	設立年月日	平成4年4月1日	代表者	理事長 岩田 末幸	県所管部・課	農政水産部 水産政策課
	総出資額	111,657 千円		県出資額	55,829 千円	県出資比率
要	設立目的	栽培漁業の推進及び養殖業の振興により、海面における本県水産業の発展を図り、もって県民生活の向上に寄与することを目的とする。				
	特記事項	沿岸漁場整備開発法第15条による指定法人。				

内容		令和2年度	令和3年度	令和4年度		
改革工程	①公社等のあり方見直し	一般財団法人としての適正な業務運営 宮崎県資源管理指針及び栽培基本計画に対応した事業推進	(計画) ①一般財団法人としての適切な運営(公益目的支出計画の実施)を行う。 ②継続事業である放流事業は、県資源管理指針及び栽培基本計画に対応して推進する。 (実績) ①計画通り放流事業等の継続事業を実施した。 ②県資源管理指針及び栽培基本計画に応じた魚種、尾数及びサイズでの放流を行った。	(計画) ①一般財団法人としての適切な運営(公益目的支出計画の実施)を行う。 ②継続事業である放流事業は、県資源管理指針及び栽培基本計画に対応して推進する。 (実績) ①計画通り放流事業等の継続事業を実施した。 ②県資源管理指針及び栽培基本計画に応じた魚種、尾数及びサイズでの放流を行った。	(計画) ①一般財団法人としての適切な運営(公益目的支出計画の実施)を行う。 ②継続事業である放流事業は、県資源管理指針及び栽培基本計画に対応して推進する。	
	②公社等の経営見直し	経営・事業運営改善	経営(改善)計画の実践 施設機能の維持・向上	(計画) ①中期経営計画に基づく事業運営を実践する。 ②種苗の安定供給を図るため、施設の計画的な維持補修を行う。 (実績) 令和2年度においては、シマアジが計画以上の実績となり、黒字決算となった。 ②計画通り、着水槽内取水管の更新に着工し、2ヶ年事業のうち仮設工事部分を実施した。	(計画) ①中期経営計画に基づく事業運営を実践する。 ②種苗の安定供給を図るため、施設の計画的な維持補修を行う。 (実績) 令和3年度においては、貸倒損失等の処理のために赤字決算となった。 ②計画通り、着水槽内配管工事及び魚類飼育槽安全柵設置工事を実施した。	(計画) ①中期経営計画に基づく事業運営を実践する。 ②種苗の安定供給を図るため、施設の計画的な維持補修を行う。
		財務改善	種苗生産経費等の支出削減 養殖用種苗販売等の収入増加	(計画) 中期経営計画に基づき、財務基盤の安定化を目指す。 (実績) 中期経営計画を実践し、収入は昨年度に引き続き増加した。	(計画) 中期経営計画に基づき、財務基盤の安定化を目指す。 (実績) 中期経営計画を実践し、収入は昨年度に引き続き増加した。	(計画) 中期経営計画に基づき、財務基盤の安定化を目指す。
		組織等適正化	生産体制の検討 職員のスキルアップ	(計画) 新たな種苗生産技術や防疫対策技術等の習得により職員のスキルアップを行う。 (実績) アカアマダイ等種苗生産技術の向上のため関係機関と連携し情報収集を行った。また、次年度に向け生産体制を見直した。	(計画) 新たな種苗生産技術や防疫対策技術等の習得により職員のスキルアップを行う。 (実績) 超早期プリの人工種苗生産技術開発を実施し、関係機関と連携し情報収集を行った。	(計画) 新たな種苗生産技術や防疫対策技術等の習得により職員のスキルアップを行う。
	③県と公社等直社し等の関係見直し	人的支援見直し	県派遣職員の配置検討 県職員の役員就任の見直し	(計画) なし。 (実績) なし。	(計画) なし。 (実績) なし。	(計画) なし。
		財政支出見直し	補助事業の見直し 委託事業の見直し	(計画) 県の効率的な財政支援を行う。 (実績) 委託事業1事業が終了したため、総事業費は減少した。	(計画) 県の効率的な財政支援を行う。 (実績) 補助事業2事業が終了し、新たに1事業を開始したことで、総事業費は減少した。	(計画) 県の効率的な財政支援を行う。
④情報公開推進	ホームページでの情報公開の充実	(計画) ホームページでの情報公開を行い、随時情報を更新する。 (実績) 定期的にブログを更新したことにより、ホームページのアクセス数は増加した。	(計画) ホームページでの情報公開を行い、随時情報を更新する。 (実績) 定期的にブログ更新を行い、情報公開を実施したものの、ホームページのアクセス数は減少した。	(計画) ホームページでの情報公開を行い、随時情報を更新する。		

	(人)	令和3年度				令和4年度			
		合計	県職員	県退職者	左記以外の者	合計	県職員	県退職者	左記以外の者
人的支援	役員数	11	2	1	8	11	2	1	8
	常勤	2	1	1	0	2	1	1	0
	非常勤	9	1	0	8	9	1	0	8
	職員数	9	2	0	7	8	2	0	6
財政支出等	(千円)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	(千円)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	県委託料	4,151	3,691	7,738	県借入金残高	0	0	0	
	県補助金	33,891	33,891	24,655	県の損失補償契約等に基づく債務残高	0	0	0	
	県交付金・負担金・出資金	0	0	0	県職員人件費(県支給分)	15,473	15,068	15,045	
	その他の県からの支援等	0							
主な県財政支出の内容	事業名	事業内容			令和3年度 決算額(千円)	令和4年度 予算額(千円)	種別		
	① 宮崎県水産振興協会運営補助 R4: みやぎの豊かな海づくり推進事業	県から運営費に対し補助を受け、組織強化と経営の安定化を図り、栽培漁業を円滑に推進する。			13,384	13,360	補助金		
	② 資源管理イノベーション推進事業	種苗放流事業に対し補助を受け、ヒラメの特徴的資源造成を行うことで、漁業生産量の増大を図る。			6,135	6,135	補助金		
	③ 新たな養殖生産創出支援事業	県から補助を受け、夏季生産の超早期ブリの人工種苗供給体制を構築する。			5,136	5,136	補助金		
	④ 海産系アユを親とする人工種苗生産事業	天然に近い形質を持ったアユの種苗放流の有効性の確認を行うため、海産系アユを親とする人工種苗生産について受託する。			4,000	3,000	委託料		
	⑤ みやぎモデル資源管理の高度化事業 アマダイ類種苗生産技術開発	県策定のアマダイ類資源回復計画に定められた資源の積極的培養を推進するため、アマダイ類種苗生産技術開発について受託する。			1,800	1,800	委託料		
実施事業	①ヒラメ等の放流種苗供給 ②アマダイの種苗生産技術開発 ③マダイ、シマアジ、カンパチ等の養殖種苗供給 ④ブリ稚魚需給調整、人工種苗動向把握等 ⑤養殖場の区画毎の生け簀数・飼育尾数等の調査 ⑥放流時の立会指導、漁場改善計画の実践指導、県民に対する栽培漁業の普及啓発等								
活動指標	指標名	算式(単位)	令和3年度			令和4年度	令和5年度		
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	目標値		
	① 放流用種苗生産尾数(ヒラメ)	(千尾)	340	377	110.9%	340	340		
	② 放流魚混獲状況(ヒラメ)	放流ヒラメ漁獲量/県内ヒラメ漁獲量×100(%)	14	19	143.0%	14	14		
③ 栽培漁業に関する普及啓発	見学者数等+ホームページアクセス件数(人)	3,450	3,264	94.6%	3,450	3,450			
指標の設定に関する留意事項									

	正味財産増減計算書 (千円)			貸借対照表 (千円)			
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
経常収益	188,701	214,623	202,618	資産	327,463	337,044	324,198
経常費用	180,358	205,673	205,330	流動資産	286,448	293,218	278,617
当期経常増減額	8,343	8,950	-2,712	固定資産	41,015	43,826	45,582
経常外収益	0	0	221	負債	59,203	65,794	58,225
経常外費用	0	0	0	流動負債	23,134	28,359	18,061
当期経常外増減額	0	0	221	固定負債	36,068	37,436	40,164
税引前当期一般正味財産増減額	8,343	8,950	-2,491	正味財産	268,261	271,250	265,974
法人税・住民税及び事業税	7,222	5,961	2,785	指定正味財産	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,121	2,989	-5,276	(うち基本財産への充当額)	0	0	0
一般正味財産期首残高	267,140	268,261	271,250	(うち特定資産への充当額)	0	0	0
一般正味財産期末残高	268,261	271,250	265,974	一般正味財産	268,261	271,250	265,974
当期指定正味財産増減額	0	0	0	(うち基本財産への充当額)	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	(うち特定資産への充当額)	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0				
正味財産期末残高	268,261	271,250	265,974				

※千円未満を四捨五入して表示しているため、合計の金額と一致しない場合があります。

指標名	算式 (単位)	令和3年度			令和4年度	令和5年度
		目標値	実績値※	達成度(%)	目標値	目標値
① 1人当たりの自主財源収入金額	自主事業収益/事務局職員数 (千円)	7,904	14,609	184.8%	7,904	7,904
※ 令和3年度 実績値の算式	131,480千円/9人					
② 収支比率	当期収入合計/当期支出合計×100 (%)	103.6	98.7	95.3%	103.6	103.6
※ 令和3年度 実績値の算式	202,618千円/205,330千円×100					
③ 主な収益事業魚種の販売収入	(千円)	88,361	103,968	117.7%	88,361	88,361
※ 令和3年度 実績値の算式	養殖用マダイ 28,582千円+養殖用シマアジ 75,386千円					
指標の設定に関する留意事項						

直近の県監査の状況	
-----------	--

総合評価	公社等自己評価	令和元年度及び令和2年度はシマアジ等の収益向上により黒字決算であったが、令和3年度は貸倒損失等の処理のために赤字決算となった。今後は効率的な種苗生産に繋げる取組を推進する等、コスト意識の醸成に努め、中期経営計画に基づいた職員一丸となった取組を推進することにより経営の安定化を図り、継続的な黒字化を目指す。				県所管部課二次評価	令和元年度及び令和2年度はシマアジ等の収益向上により黒字決算であったが、令和3年度は貸倒損失等の処理のために赤字決算となった。今後は、新たに策定された中期経営計画に基づき、効率的な種苗生産に繋げる取組を推進し、確実に収益確保を図ることで、安定した経営が可能となるものと考えられる。			
		改革工程	活動内容	財務内容	組織運営		改革工程	活動内容	財務内容	組織運営
評価 (A:良好、B:ほぼ良好、C:やや課題あり、D:課題多い)		A	A	A	A	A	A	A	A	
目標達成度						<p>活動内容については、目標を若干下回った指標はあるものの、種苗の安定供給等に努めた結果、その他の指標については目標を達成しており評価できる。</p> <p>財務内容については、赤字に転じているものの、貸倒損失等によるものであり、指標の目標はおおむね達成していることから一定の評価ができる。</p> <p>引き続き、中期経営計画に基づき、漁業者等のニーズに対応した魚種の生産・販売促進や経費削減に努め、経営の安定を図っていく必要がある。</p>				
		公社等改革推進委員会 三次評価								